

若戸校区は、田原市の中南部、赤羽根漁港の西側に位置し温暖で施設園芸が盛んな農村地域です。

若戸校区では、「人と自然と産業が共生する豊かで活力あるまち」を将来像として、さまざまな活動を行っています。その中から活動の一部と地域の情報を紹介します。

◆地引き網

昭和60年当時、地引き網を知らない子どもたちのために、池尻の網元さんと小学校が一緒に、学校行事として始められました。



●地引き網の様子

平成15年の小学校区制の導入を機に、若戸校区としての支援も始まり、今年度からはコミュニティ協議会の行事として、去る7月30日に開催しました。当日は、さまざまな種類の魚が取れ、地元住民が講師となった現

地での「魚の学習会」は、子どもたちに変喜ばれました。

◆越戸区「白山比咩神社山車」再現

天保13年に奉納された御鏡と共に古い山車が保存されていたため、専門家と文化財課の学芸員に見てもらったところ、明治後半か大正初期の作であると推測されました。山車の形は、田原の山車のような名古屋型ではなく、豊橋の二川系に近い型とのことでした。

近年に復元したのは昭和52年で、それ以降は社務所内に大切に保存されていきました。不足する材料に苦労しながらも、越戸の区長・会計はじめ瀬古長など地元役員の協力を得て再現し、地域の方々にお披露目することができました。



●再現された山車

市民活動チャレンジ支援補助金
応募受付中
フレッシュな若者の皆さんにオススメ！



「市民活動チャレンジ支援補助金」は、若者の市民活動グループを応援する制度です。地元の仲間、職場の同僚と一緒に市民活動にチャレンジし、楽しみながらまちづくりに取り組んでみませんか？皆さんの斬新なアイデアがまちを元気にします！

【募集期間】平成29年1月31日(火)まで
随時募集

【対象事業】まちの活性化に向けて行われ、公共性が期待される事業で、平成29年2月末までに完了する事業 ※例えば：伝統文化(祭りの会など)を復活させる活動、お見合いパーティーを開催する活動、子育て中のパパとママでサロン会を開催する活動など

【対象団体】おおむね18歳から40歳までの市民5人以上の団体
【補助金額】事業費の2分の1(1事業につき上限10万円)

【応募方法】企画課で配布する提案用紙に必要事項を記入の上、直接または郵送で提出。提案用紙は市HPからもダウンロード可(1001057)

- 申請の流れ
1. 事前相談
 2. 申請書類の提出(事業開始予定日の2週間前まで)
 3. 書類審査(企画課と事業に関係する部署とで審査を行います。)
 4. 交付決定、事業開始
 5. 実績報告(事業完了後20日以内)
 6. 事業報告会にて活動報告(2、3月頃)
 7. 補助金の請求

▼企画課

☎ 23-507-230669

✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

1001061

shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp